

TES会中部支部 第122回クレーム事例勉強会

検討年月日	2017/6/16	Bグループ
品名(品番)(写真)	綿シルク麻の婦人物ジャケット	
	組成	101 201 301 401 501 601
	コットン 40%	絵 102 202 302 402 502 602
	シルク 37%	表 103 303 403 603
	麻 21%	示 104 304 604
	ポリウレタン 2%	記 105
		号 106 当て布
		107
申し出クレーム内容	縮んだ メーカー情報の企画寸法→事故品の現在の寸法(単位cm) 身丈110→100、着丈57→53、袖丈59→55、ゆき79.5→74.5、肩幅41→41	
クリーニング処理法	商業クリーニング業者による軽い水洗い 消費者より縮みありとのクレームで再プレスしたが、販売時の寸法にならない メーカー情報では、生地試験4%収縮率	
グループ検討内容	①水洗い不可表示の製品を水洗いしたことに原因がある ②サイズ情報を見ると、タテ方向の10%近い縮みに対し、ヨコは縮んでいないとも見えるが、寸法的に身丈110cmはおかしい。身丈でなく、バストではないか。情報伝達ミスの可能性あり。 ③縫い代の合織パイピングテープに目立ったしわがないが、天然素材と同じように縮んだとみるのは難しい → 製品の仕上がり寸法がもともと企画寸法より小さかった可能性あり ④生地はタテ方向に大きく伸び、ヨコ方向の伸びは若干である ⑤タテ伸びが大きいことから、生地をヨコ取りしたのではとの意見もあったが、グログラン組織であることから、その可能性は少ない ⑥生地のタテヨコの糸使いは不明	
検査機関検討内容	①身丈110→100 -9.1% ②着丈57→53 -7.0% ③袖丈59→55 -6.8% ④ゆき79.5→74.5 -6.3% ⑤肩幅41→41 0.0% 生地としては、①～④タテ方向、⑤はヨコ方向。タテ方向が縮んでいる。 表示は水洗い×となっており、どういう処理のどの段階で縮んだのかが不明。 生地試験4%収縮は水洗いなのか、ドライ石油系洗いなのか、試験法が不明。 ・水洗いによる収縮 ・タンブル簡素などの熱やもみ作用による収縮	